

刑法各論Ⅱ

科目ナンバリング CRL-202
選択 2単位

増田 隆

1. 授業の概要(ねらい)

「その犯罪が成立するためには、どのような要件を充足する必要があるのか?」、すなわち個別具体的な犯罪成立要件について、必要なときには他の法分野(とりわけ民事法)の概説も交えつつ、判例や裁判例を可能な限り多く紹介しながら、説明したいと思います。刑法各論は、総論ほど抽象的で難解なイメージはないと思います。なお、刑法各論Ⅱでは、財産犯(個人的法益に対する罪)のみについて扱います。

2. 授業の到達目標

①各犯罪の基本をふまえたうえで、人に分かるよう説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(40%)及び筆記試験(60%)。なお、最終授業日に、総復習として授業内試験及びその解説を行う場合があります。

4. 教科書・参考文献

教科書

高橋則夫 『刑法各論』(3版:2018年) 成文堂

佐伯仁志ほか 『刑法判例百選Ⅱ -- 各論』(8版:2020年) 有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書の該当箇所を精読してください。

6. その他履修上の注意事項

法律学習の基本は教科書を読むことです。ですから、受講生は指定教科書を読むことにより、知識を定着させてください。また、知識の単なる丸暗記に終始することなく、「なぜ?」と自問する探求心を、刑法を素材に身につけてもらいたと思います。授業に出席して学ぶことはもちろんのこと、他人と場所及び時間を共有していることを常時意識して、私語を慎む等各自自覚してください。なお、レジュメ等は、LMSで各自ダウンロード・印刷してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 財産犯総説(1)
- 【第2回】 財産犯総説(2)
- 【第3回】 窃盗罪(1)
- 【第4回】 窃盗罪(2)
- 【第5回】 強盗罪(1)
- 【第6回】 強盗罪(2)
- 【第7回】 詐欺罪(1)
- 【第8回】 詐欺罪(2)
- 【第9回】 恐喝罪
- 【第10回】 横領罪(1)
- 【第11回】 横領罪(2)
- 【第12回】 背任罪(1)
- 【第13回】 背任罪(2)
- 【第14回】 盗品関与罪・器物損壊罪
- 【第15回】 総復習